

平成 30 年産農作物共済の実績（概要）について

1 水稲

(1) 引受実績

引受戸数は 1,230 千戸（対前年 94.5%）、引受面積は 1,430 千 ha（対前年 99.5%）であり、引受面積の上位 3 県は新潟県（119 千 ha）、北海道（106 千 ha）、秋田県（79 千 ha）となっている。また、共済金額は 957,958 百万円（対前年 101.3%）であり、面積引受率は 92.3%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 43 千戸、同面積は 62 千 ha となっており、共済金は 7,325 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 3.5%。金額被害率は 0.8%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）0.8%と同程度の被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、沖縄県（4.9%）、和歌山県

（2.6%）、山形県（2.2%）広島県（2.2%）、北海道（2.1%）であり、主な被害は台風に伴う風水害、低温及び日照不足による登熟不良などであった。

2 陸稲

(1) 引受実績

引受戸数は 56 戸（対前年 82.4%）、引受面積は 28ha（対前年 94.9%）、共済金額は 7,640 千円（対前年 101.3%）であり、面積引受率は 3.7%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 17 戸、同面積は 9ha となっており、共済金は 1,577 千円となった。

被害率は、戸数被害率が 30.4%。金額被害率は 20.6%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）7.8%と比べると高い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは茨城県（28.9%）であり、主な被害は風水害、干害であった。

3 麦

(1) 引受実績

引受戸数は 37 千戸（対前年 95.0%）、引受面積は 266 千 ha（対前年 99.6%）であり、引受面積の上位 3 県は北海道（123 千 ha）、福岡県（21 千 ha）、佐賀県（21 千 ha）となっている。また、共済金額は 129,958 百万円（対前年 102.3%）であり、面積引受率は 97.6%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は20千戸、同面積は124千haとなっており、共済金は15,518百万円となった。

被害率は、戸数被害率が43.4%。金額被害率は11.9%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）9.1%と比べると高い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、秋田県（61.5%）、福井県（32.6%）、富山県（24.2%）、石川県（20.7%）、青森県（16.4%）であり、主な被害は土壌湿潤害、低温及び日照不足、病害などであった。